

電気新聞

ENERGY & ELECTRICITY
The Denki Shimbu

ホーム	ニュース	出版物	イベント	広告・特集	電気新聞について			
トップ	主要ニュース	電力・エネルギー	産業・技術	工事・保安	地域	フォト	スペシャル	エネルギー業界プレスリリース

ホーム > ニュース > 主要ニュース > 記事本文

News 主要ニュース

エネ庁、スマートメーターの導入加速 まずは高圧需要家に

2011/08/23

経済産業省・資源エネルギー庁は電力需要のピークカット対策として、需要の約6割を占める高圧需要家のスマートメーター（次世代電力量計）対応を急ぐ。来夏までに高圧全数で自動検針の対応を終え、節電効果が見込まれる時間帯別料金やピーク時課金導入の下地を整えたい考え。電力会社の対応を促すため、全社に導入計画の作成・提出を求めるなどの制度措置を検討する。既に設置した需要家には電力消費の「見える化」を進める観点から、2011年度3次補正予算でBEMS（ビル・エネルギー・マネジメント・システム）などの導入支援を行う。

閣僚級のエネルギー・環境会議（議長＝玄葉光一郎国家戦略担当相）は、7月29日に公表した当面3年間の需給安定策の中で、ピークカット対策の柱として、今後5年以内に総需要の8割にスマートメーターを導入する目標を掲げている。

エネ庁はこの取りまとめを踏まえ、高圧と低圧の2段階でスマートメーター導入を進める方針。来夏までの1年間で需要の6割を占める高圧需要家対応を終え、今後5年以内に残り4割の低圧需要家の半分にスマートメーターを導入する青写真を描く。（本紙1面より）